

教育

就学援助制度の入学準備金の3月支給を

すでに決定

問 福岡市に続き、北九州市でも2017年度から就学援助新入用品費を3月に支給することが決定しました。

6月定例会で安河内教育長は、対象者は課税所得250万円以下、小・中学生445人と答弁され、子どもの貧困が深刻な問題となっています。貧困の連鎖を断ち切るために教育水準の向上は欠

かせません。家庭の経済力に左右されずに子どもたちが夢と希望を持ってスタートできるようにするべきです。

中嶋町長も2年前の課税情報での判定となるため問題もあるが、できる方向で考えてもらえばできる、また、町長会で議題としますと答弁されました。前倒し支給を実現してください。



児玉 求 議員

答 中嶋町長

平成29年度(平成30年3月)から実施することになっていきます。

入学準備金の3月支給にあたって

現在は8月に支給

現在、就学援助費の支給は、8月・12月・3月の年3回としており、入学に関する費用の援助費(入学準備金)は8月に支給しています。

8月から支給を始めていくのは、最新(前年)の税情報により、受給資格の確認を行うためです。

29年度から時期を前倒し

入学時の費用負担を減らすため、平成29年度から、入学準備金については、時期を早め、入学前(3月)に支給することが決定しました。

前年の税情報が確定していない時期であるため、前々

年の税情報によって受給資格を判定します。

なお、入学準備金以外の援助費については、税情報確定後に判定するため、その年度の受給資格に該当しなくなる場合があります。

予算確保など進む準備

今後、規則の見直し、申請手続き等の整備、予算の確保など準備を進め、平成29年度(平成30年3月)から実施する計画です。



● 問い合わせ先 子ども教育課 ☎ 0932・1459

一/般/質/問 町政を問う!

4

総務建設産業委員会



進むICT化

11月15日(火) 自治体クラウドサービス事業調査

② 糟屋南部3町自治体クラウド

平成18年の6町合併協議時に、電算部会で検討されていたシステムの共同利用化が残り、平成22年に3町でクラウド化し、実施に至りました。その後、平成27年に再構築が行われています。

③ 須恵町で稼働しているシステム

現在は住民記録をはじめ、税・保険・教育・水道等すべての課の32業務に対応しています。

④ マイナンバーに伴うセキュリティの強化

次の項目に国庫補助金および特別交付税措置があります。
ネットワーク分離・ウイルス検知ソフトの強化・USB等によるデータの持ち出し管理・二要素認証

⑤ 今後の予定

- フリーWiFiスポットの設置
- 役場庁舎・アザレアホール・図書館・オikos等
- 地図情報(GIS)の外部発信
- ↓町所有の地図情報を活用し、タイムリーな公開

ICTに関し、大きな予算が計上されているため、次の5項目について調査を行いました。

① 自治体クラウドとは

コスト削減、管理・運用業務軽減、セキュリティ確保、災害対策強化の理由から、情報を管理する複数のサーバーを複数の自治体が外部のデータセンターで管理し、インターネット回線等を用いて利用することです。もちろん、他町のデータを見ることはできません。

委員会レポート

文教厚生委員会



社会教育課各部門の取り組み

10月21日(金) 社会教育関係事業調査

公民館 公民館事業の推進、町内20分館との連携と協議

青少年 子ども会育成会連絡協議会や青少年指導員会等の活動支援

社会人権・同和教育 基本的人権が尊重される社会づくりのため、人権意識の高揚を図る人権教育・啓発の推進

文化財 文化財の保護・活用、歴史民俗資料館・久我記念館の管理運営

図書館 図書館の管理運営、読書推進行事の実施

社会教育の根幹をなす須恵町社会教育基本計画では、各分野に重点目標を掲げ、町の特性に応じた社会教育の推進のため、さまざまな取り組みを実施しています。その内容について各担当から説明を受け、充実した意見交換を行いました。各担当の主な業務・施策は次のとおりです。

社会体育 スポーツ推進委員や体育協会の活動支援、各種体育行事の推進、社会体育施設の管理運営

教育を基盤にすえたまちづくりを行っている須恵町として、社会教育の活動は、学校教育と車の両輪をなしていると実感しました。さらに充実した活動ができるよう議会としても支援していきます。